

○ 医療機関・薬局等関連施設と連携した教育・研究内容

本研究科では、高度な職能を有する薬剤師の養成を目的として修士課程（旧課程）医療薬学専攻において「薬学臨地実習（実習期間：約5ヵ月）」を実施するなど、医療機関との連携の実績を積み重ねてきた。

新しい4年制博士課程においても上記「薬学臨地実習」で培ってきた医療機関との提携・協力関係と臨床現場における実習・研究の実績を活かし、予定されている研究テーマに基づき、現場の専門医あるいは専門薬剤師等の指導のもと、共同での臨床研究の展開を効果的に図る予定である。

例えば専門薬剤師等を目指す学生を主な対象とする「臨床薬学総合実習」（完成年次前であるため、現在のところ履修予定者はいない）では、実習を行う医療機関については、研究テーマに基づき当該実習担当教員及び指導教員との協議により選定し、実施する時期及び期間（おおむね5ヵ月）については、研究計画及び研究の進行状況を勘案のうえ、実施予定の医療機関との調整により決定する。

《点検・評価》

本研究科は、従来より医療薬学分野に対する社会的要請に応えるため、医療機関と連携した大学院教育を展開してきているが、今後も医療系総合大学として、附属医療機関を有する利点を活かすとともに、これまで培われた医療機関との提携・協力関係と臨床現場における実習・研究の実績及び成果を発展的に継承していくことにより、より高度な実践的能力を修得するための体制整備が期待できる。

なお、これまでの本研究科における医療機関との主な連携実績は別表に示すとおりである。
これらの実績を踏まえながら、今後もさらに医療機関との提携・協力体制の整備を図る予定である。

*次ページ別表参照

<表> これまでの医療機関との主な連携実績

主な医療機関名	所在地	主な臨床研究課題
北海道大学病院	札幌市	・外来治療センターへの入院治療経過に関する情報提供
札幌医科大学附属病院	札幌市	・泌尿器科がん化学療法における薬剤管理指導業務の標準化 ・抗がん剤無菌調製業務の現状と課題 ・抗がん剤調製業務拡大への参画 ・ウイルソン病患者の銅代謝について
N T T 東日本札幌病院	札幌市	・ワルファリン服用患者におけるモニタリングシートの作成と薬学的管理 ・D I 提供記録に関する調査 ・指定抗菌薬使用届運用後の実態調査 ・カルバペネム系抗菌剤使用状況調査と検討
手稲溪仁会病院	札幌市	・肛門管癌に対する放射線化学療法の症例報告 ・大腸癌に対する症例報告 ・C型慢性肝炎に対するベグインターフェロン・リバビリン併用療法の症例報告 ・アリムタによる化学療法を導入した症例の調査
市立札幌病院	札幌市	・がん性疼痛緩和に用いるオピオイドの副作用による嘔気・嘔吐の実態調査 ・ミカファンギンの体内動態と有効性・安全性評価 ・経口徐放性オピオイド製剤（硫酸モルヒネ、塩酸オキシコドン）の臨床使用実態と症例報告 ・緩和ケアチームにおけるケタミンの使用状況（オピオイドにケタミンを併用したがん性疼痛緩和）の実態調査 ・心房細動におけるペプリジル血中濃度測定と適切な投与設計に関する検討
JCHO 札幌北辰病院 (旧札幌社会保険総合病院)	札幌市	・DPC 導入後の Auto-PBSCT 併用超大量化学療法における薬剤師の役割 ・乳癌患者の術後化学療法 CEF 療法における後発医薬品と先発医薬品の比較 ・携帯型持続注入器の制度と 5-FU 注の投与時間の誤差について
JCHO 北海道病院 (旧北海道社会保険病院)	札幌市	・インターフェロン治療における薬学的管理 ・呼吸器領域の MRSA 感染症に対するアルベカシンの投与方法が血中濃度及び臨床効果に与える影響
北海道消化器科病院	札幌市	・複数の腎機能評価指標の比較と指標間に差異が生じる因子の解析
札幌南三条病院	札幌市	・CBDCA+CPT-11 療法施行患者における腎機能と血液毒性発現の比較 ・分割型 Cisplatin-based chemotherapy を施行した肺がん患者における palonosetron 使用前後の制吐効果の比較
札幌北楡病院	札幌市	・ミカファンギンの有効性・安全性と血中濃度に関する検討
北海道がんセンター	札幌市	・造血幹細胞移植患者における TDM を利用したシクロスポリンの副作用回避 ・骨肉腫患者のメトトレキサート大量療法に伴う副作用発現状況の調査 ・多発骨転移患者における疼痛コントロール及びオピオイドの副作用管理 ・癌化学療法に伴う発熱性好中球減少症 G-CSF 製剤と抗菌薬の使用状況調査
天使病院	札幌市	・天使病院における大腸がん患者の生存率に関する調査 ・外来がん化学療法における有害事象発現実態調査及び今後の薬学的ケアへの取り組み
市立小樽病院	小樽市	・ドーピング対象となる医薬品の使用状況調査と管理体制の構築
旭川医科大学附属病院	旭川市	・オーリングシステムでの注射薬オーダ上限量警告システムによる医療過誤防止について
北海道医療大学病院	札幌市	・アムロジピン服用患者においてクラリスロマイシン処方後に「めまい」と「夜間頻尿」が出現した事例について ・顎変形症患者のクリティカルパスにおける薬剤情報提供に関する検討